

中国異文化交流 感想

S154003 栗村稔

9月13日から17日にかけて、人民大学の学生との交流を目的に、中国に行きました。そこで私は、中国と日本の文化の違い学ぶことが出来ました。また、学ぶだけではなく、中国の主要な観光地に行き、中国らしさに触れることもしました。

まず、僕は中国に来る前から不安だったことがあります。英語でコミュニケーションが取れるのかということでした。結論からいうと、自分の英語力の無さを恥じるほどでした。人民大学の学生に伝えたい事を言葉に出来ず、こちらの言いたい事をなんとかして汲み取って貰うのがやっとなりで、とてもモヤモヤしました。また、中国では、英語を話せる人は人民大学などのレベルの高い大学に通っている優秀な学生の様に、一部の人がしか話せないらしく、話せない人は本当に全く話せないらしいです。中国に行って初めて、中国では勉強においての格差が非常に大きいことを知りました。その背景には、中国国内の経済格差や、教育制度の問題があり、改善していく必要があるのではないかと思います。

中国での観光として記憶に残ったのが、万里の長城、北京市内探索、夜市、中国最古の村などです。万里の長城は階段が急で、想像していたよりも登るのが大変でした。しかし、万里の長城からの眺めは素晴らしく、山々が良く見えて、中国の自然を楽しむことが出来ました。北京市内では超市に行って中国で普通の買い物を体験してみたり、夜市では私たちの想像していたような中国の食べ歩き街の様子を体験することが出来ました。中国最古の村では人民大学の学生と共に行動したのですが、そこで一番交流を深めることが出来たように思います。

最後に、言語がわからない分戸惑うこともありましたが、大変勉強になった5日間だったと思います。そしてこの五日間で、私が中国に行ったことがない人におすすめしたくなったのは、中国の料理です。非常においしかったです。ありがとうございました。

